

# ワークステーション柳丸校の特徴

ワークステーション柳丸校は介護に特化した訓練校です。  
年齢層も幅広く 10 代～ 60 代の方が介護の知識・技術の習得に日々チャレンジしています。

## Point 1 2つの資格取得

- ① 介護職員初任者研修課程修了（全課程を履修し評価試験に合格した者）
  - ② 福祉用具専門相談員養成研修修了（全課程を履修し評価試験に合格した者）
- 2つの資格取得を目指すことができます。



## Point 2 経験豊かな講師

専任講師、外部講師は現場経験が豊富で、介護施設で働かれている方や、介護職員を育成していく指導者として活躍している方々です。

## Point 3 早期に就職を目指す

サービス形態が違う複数の施設の職業人講話で、介護職のやりがい、施設の仕組み等の情報を得ることができ、企業実習で介護現場を見ることで、就職に向けて方向性も明確になり、早期に就職を目指すことができます。



### \* 修了者のコメント・講師のコメント \*



**F・Kさん 20代男性  
特別養護老人ホーム 勤務**

職業訓練を卒業して、特別養護老人ホームで正職員として働いています。  
実務経験も3年以上になるので実務者研修を受けて介護福祉士を目標にがんばります。



**Y・Mさん 60代男性  
有料老人ホーム 勤務**

定年退職したあと介護に興味をもち職業訓練を受講しました。今は介護職員として有料老人ホームで働いています。  
皆さん、介護の道へ是非お越しください。



**Y・Oさん 30代女性  
介護老人保健施設 勤務**

職業訓練を通して、介護の基本的なことを学んだため、初めてでもスムーズに仕事に取り組むことができました。利用者さんの笑顔を引き出すことが一番大切だと考えて行動しています。



**M・Kさん 50代女性  
デイサービス 勤務**

県外から宮崎に来たときに前から興味があった職業訓練を受講しました。  
今は職業訓練を卒業してデイサービスで働いています。働き始めたときは不安でしたが今はやりがいを感じています。

### 専任講師のコメント

勉強が苦手、年齢的に無理などで介護に踏み込めない方！！大丈夫！！  
少しでも介護に興味があれば、講師がその気持ちを最大限に引き出します。  
勇気を出して介護の世界へ一歩踏み出しませんか？



### \* 受講者アンケート\* (3ヶ月コース)

Q: 訓練を受講しようとしたきっかけは？

A:

- \* 資格が取得できるから
- \* 身内の介護を経験し、それを活かして介護の仕事に就きたいと思ったから
- \* 知人等に介護職が人材不足と聞いたから

Q: 訓練カリキュラムはどうでしたか？

A:

- \* 内容がとても充実していた
- \* 実技の時間が楽しかった
- \* 企業実習に行くことで現場の実情を知ることが出来た

### \* 訓練風景（学科・実技）\*



座学風景



介護職員初任者研修実技風景



### \* 修了者の主な就職先 \*

< 就職先 >

養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、養護盲老人ホーム、介護老人保健施設、小規模多機能施設  
訪問介護事業所、住宅型有料老人ホーム、介護付有料老人ホーム、障害者支援施設、グループホーム  
短期入所生活介護（ショートステイ）、通所介護（デイサービス）、病院、福祉用具貸与事業所



介護イメージ写真

### \* 資格取得要件 \*

| 資格名           | 規定時間数 | テスト回数 | 評価基準             |        |         |
|---------------|-------|-------|------------------|--------|---------|
|               |       |       | 筆記小テスト           | 実技小テスト | 修了評価テスト |
| 介護職員初任者研修     | 137時間 | 3回    | 70点以上            | 70点以上  | 70点以上   |
| 福祉用具専門相談員養成研修 | 50時間  | 1回    | 修了評価テスト<br>70点以上 |        |         |

※資格を取得するには、規定時間数を受講し、すべてのテストで評価基準（70点以上）を満たすことが要件です。

#### ★欠席・遅刻・早退で規定時間数を満たせなかった場合

欠席等により規定時間数を満たしていない場合、希望者は申し出により補講を受けることができます。  
ただし、補講の実施日は、講師との日程調整（放課後または休校日、若しくは訓練終了後等）により決定します。  
補講料：時間数×2,500円  
(例) 1日6時間休んだ場合には6時間×2,500円＝15,000円

#### ★資格取得する為の評価基準点が取れなかった場合

【訓練中】希望者は申し出により、再テストを受けることができます。  
【訓練終了後】受講終了日より3ヶ月以内であれば、再テストを受けることができます。  
ただし、規定時間数を満たしていても補講の受講が必要であり、補講の時間数は、テストの結果を踏まえ講師が判断した時間数とします。 補講料：時間数×2,500円

